



富士百景



【2-1 病棟 渡辺達雄さんの作品から】

- 新年度（平成 22 年度）をむかえて
 - 千葉院長 …… 新年度・病院運営方針について
 - …… 新任医師の紹介
- 春の叙勲授与
- 各科だより …… 腎臓内科・皮膚科
- 病棟紹介 …… 2-1病棟
- 人工透析室から
- ニューフェイス紹介



■ 編集・発行 ■

平成22年度をむかえて

院長 千葉成宏



新年度を迎えて、病院でも新入職員に対する新人教育を行っているところです。さて、今年度の病院運営目標を以下のように決定しました。

1. セーフティ・ホスピタル

一般病棟の看護基準7:1(入院患者7人に対して平均1人の看護師を配置)をスタート、安全でより質の高い看護を目指します。また、医療事故の防止、院内感染の予防には従来から病院をあげて取り組んでいますが、今年度も更にこの取り組みを推進します。

2. コア・ホスピタル

地域の中核病院として、地域の皆様や他の医療機関から色々な面で頼られる存在であるように、また救急医療に力を入れ救急車にも頼られる病院に!

救急医療に関しては、今年度4月から、東山梨地域の診療所の医師たちが、当院を始めとして「塩山市民病院」・「加納岩総合病院」の救急診療を支援してくれる新たな取り組みが始まりました。

3. エコ・ホスピタル

環境問題は、病院も例外ではありません。単に省エネに止まらず、近年の医療危機・経済危機を念頭において、職員が安心して働ける職場を維持していくことが、地域に貢献していくことになると考えています。

この4月の診療報酬改定で、今年度10年ぶりに医療費が0.3%上がることになりましたが、これに付随して患者様へ医療費の明細書を発行することが義務付けられました。当院は、これからも皆様と情報を共有し、より透明で誠実な医療を行ってまいります。更なるご支援をお願いいたします。



【新任医師紹介】

今年度、4月1日付けで6名の医師が着任されました。新任者が2名、前任との交替者が4名です。

新任



もちだ てつじ
望田 哲司先生

診療科 循環器内科
前任地 市立甲府病院

新任



こばやし さとし
小林 哲先生

消化器内科
鹿島労災病院

交替



のざわ むねひろ
野澤 宗裕先生

泌尿器科
国立病院機構甲府病院

交替



たん てつじ
丹 哲士先生

診療科 小児科
前任地 上尾中央総合病院

交替



でぐち のぶひろ
出口 順啓先生

皮膚科
国立病院機構千葉医療センター

交替



とのおか ゆじ
外岡 雄二先生

精神科
山梨大学医学部附属病院

春の叙勲

祝 瑞宝双光章 受章

財団法人山梨厚生会 理事長 有 泉 憲 史

4月29日、山梨厚生病院 院長；千葉成宏先生と看護部長；古屋玉枝氏がそれぞれ「瑞宝双光章」の叙勲を受章されました。法人ならびに全職員を代表してお二人に心からお祝いを申し上げます。

一つの病院の院長、看護部長が同時に叙勲受章されることは、おそらく前例の無い事かと思えます。日頃、将来ある若い職員の皆さんには、市民の健康を守ることで、社会に貢献して行こう。とお話していますが、病院の指導的立場にあるお二人が、これまで貢献されてこられた社会の側から叙勲をお受けになられたことは、私たち後進にとっても大きな喜びであり、かつ誇りであります。

私たち職員も、今回のお二人の受章を大きな励みとして仕事に取り組んでいかなければと思います。この度は誠におめでとうございました。



院長 千葉 成宏

肺がんの手術をはじめ、私の仕事の多くは山梨県立中央病院での勤務時代のものですが、山梨での臨床医としてのスタートの4年間がこの山梨厚生病院であり、私の臨床の原点になっています。

そして 25 年ぶりに当院へ戻ってすでに7年目、昔からの友人を含め多くの仲間と一緒に仕事ができる幸せがあり、また私たちの仕事が少しでも地域の皆様に貢献できるものであれば、これ以上の喜びはありません。この度の受章を、これまで支えて頂いた職場の皆様、地域の皆様、関係各位、先輩・同僚・後輩そして家族に感謝いたします。

《心からの感謝を…皆様に…》

看護部長 古屋 玉枝

はからずも、大きな大きなお褒めを頂きました。共に歩んでくださった、導き・後押ししてくださった、励まし引っ張ってくださった、すべての方々に「本当にありがとうございました」……深く深く感謝を申し上げます。

私一人では何もできません。皆様が支えてくださったから何とか今日までこれました。今、看護の道を歩んできて本当によかったと思っています。

私にとってあとわずかとなったこの道を、今回の受章を励みとし、しっかりと歩み遂げたいと思います。どうか、これまで同様によろしく願いいたします。

【春の叙勲】

春の叙勲には、夫々の分野で顕著な功績を上げられた方に贈られる「旭日章」と、公務などに長年従事し公益に貢献された方に贈られる「瑞宝章」、またより功績の大きい方に贈られる「桐花大綬章」があります。今年度、最高位の桐花大綬章には、島田仁郎元最高裁長官と綿貫民輔元衆議院議長のお二人が選ばれました。全国で旭日章876人、瑞宝章3143人の方々が受章され、内山梨県在住者は、旭日章14人、瑞宝章28人の計42人(内女性7人)でした。

腎臓内科を紹介します。

～ 山梨厚生病院では、平成20年7月1日より腎臓内科を開設しました。～

腎臓内科部長 櫻 林 耐

腎臓は、人間が生きていくために体の中で行った作業によってできた老廃物を尿として体外に排泄しています。また、水分やミネラルのバランスをとって血圧を正常に保ったり、赤血球や骨を作るホルモンを作る役目を務めています。この腎臓に障害が発生すると、将来、致命的病態である尿毒症に至り、生きていくためには透析医療が必要となります。加えて近年、脳卒中や心筋梗塞といった心血管病のリスクをも高めることが明らかになるなど、腎臓を守ることの重要性が大きくクローズアップされてきています。

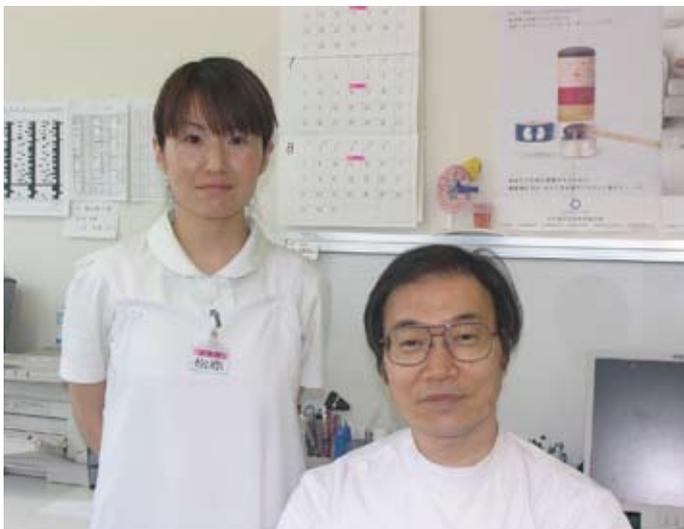
腎臓が老廃物を尿として排泄する仕組みを簡単に説明しますと、血液を糸球体という組織で濾過し、その後、尿細管で必要なものを再吸収し、最後に残ったものを尿として排泄するということになります。その際、体に必要なタンパク質は尿中にはもれない仕組みになっており、尿にタンパクが出るということは、すなわち腎臓に何かしらの病気があることを示しています。放置しておくくと重大な合併症を招きます。そのために検尿は非常に重要で、血液検査と合わせて行うことにより腎臓病の早期発見が可能です。

《診療内容》

腎臓病には、慢性腎炎など腎臓自体に原因があるものと、糖尿病や高血圧など全身疾患に伴って出現・進展するものがあります。当院では、検尿等によりタンパク尿や腎機能障害が発見されたら、精密検査により原因検索と合併症の検索を行い、その結果をもとに、食事療法や薬物治療を中心に慢性腎臓病への進展抑制を行います。併せて循環器内科・糖尿病内科等と連携し生活習慣・血圧・代謝などの全身管理を行っています。また、不幸にして末期腎不全に至った場合は、泌尿器科と共に慢性維持血液透析を施行・管理しています。さらに急性腎不全の治療にも対応しています。

外来診療は、医師（私）と看護師 1 名という体制でまだまだ小規模ですが、現在、山梨大学医学部や県立中央病院をはじめ、県内の内科・泌尿器科・小児科の腎臓専門医と医療連携組織の立ち上げに尽力しているところです。将来は、これらの医療機関との連携により、腎疾患の初期から末期までトータルにケアができる「腎臓センター」を目指しています。

【腎臓内科外来スタッフ】



◀左から
松原かおり
櫻林 耐

皮膚科を紹介します。

皮膚科医師 出口 順 啓

本年4月より当院皮膚科に新任いたしました出口順啓（でぐちのぶひろ）と申します。前任の原未枝医師が退職され、相川恵子医師が非常勤となりましたので、常勤医師は私1人ということになります。とはいえ、外来業務や病棟の往診に至るまで、相川恵子医師がこれまで通り勤務していただけるおかげで、診療体制には何の支障もございません。より一層の充実した医療を提供できるよう日々努力しているところです。

当院は地域の中核病院であると同時に、より身近な、地域に根ざした病院であると認識しております。今後も患者様の立場に立ち、細やかな配慮のもと、質の高い医療を提供し続けたいと思っております。院内外問わず、諸先生方におかれましては皮膚トラブル、何らかの皮疹を見た際には、お気軽にコンサルテーションしてください。また、入院治療が必要と思われる症例でも積極的にご紹介ください。

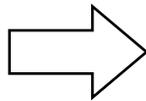
《診療内容》

皮膚科一般；肌のかさつき・痒み、痤疮（にきび）と言った症状から皮膚腫瘍に至るまで幅広く診させていただいております。腫瘍にも『粉瘤（アテローマ）』や『脂肪腫』といった比較的良好な腫瘍から『悪性黒色腫（メラノーマ）』などの悪性腫瘍まで色々あります。当院ではそのような腫瘍の手術も行っています。小さなものは外来にて日帰りで切除することも可能です。悪性腫瘍に関しては当院で行える治療が限られており、状況により山梨大学医学部附属病院へご紹介させていただいております。

どのようなことでもかまいません。何か皮膚にトラブルを抱えている方、気になる“おでき”、“しみ”、“ほくろ”がある方、まずは当院にてお気軽にご相談ください。

《当院皮膚科の特色》

- ・男性型脱毛（いわゆる“若はげ”）に対する飲み薬：プロペシアの処方。
- ・色素斑（しみ）、刺青に対するQスイッチルビレーザーやハイドロキノンクリーム、ビタミンCローションによる治療。
- ・陥入爪、巻き爪に対して手術（フェノール法）やVHO式矯正法を取り入れた治療。



巻き爪矯正技術 VHO ホームより引用

【皮膚科外来スタッフ】



- ◀左上から
藤田 友美
佃 ゆかり
天野 里美
- ◀左下から
出口 順啓
相川 恵子

「行ってらっしゃい」～「お帰りなさい」 と言いつけたい!

2-1病棟 副看護師長 三枝 浩子

こんにちは 2-1 病棟です。当病棟は、主に労働災害により障害をうけられた患者様が入院されている慢性期・長期療養型病棟です。患者様の平均年齢は 67.5 歳で自立度の高い方が多く、皆さん自分なりの生活スタイルを持ち、まさに生活の場としての特色がこい病棟です。

●生活動作の援助 ●社会生活に必要な援助 ●健康・衛生管理を中心に看護を展開していますが、年々患者様の高齢化は否めません。トランスの失敗・困難、離床時間の減少がおこっている現状です。平成 5 年から個別に健康手帳を作成し、定期検査の結果を伝えることで自己の健康意識を高めて頂けるよう努めていますが、生活動作の低下や体力の衰えはふせぎようがありません。(これは、私たちにも言えることです…)

私たちスタッフは、患者様の生活スタイルの変化に迅速に対応し、患者様の状況が変わっても「その人らしい生活」を送るための援助をさせて頂きたいと考えています。そのためにもヘルス・プロモーションを強化して病気の予防、早期発見・早期治療に繋げることが必要であり、病棟・スタッフの課題だと考えています。車イスで外出・外泊される患者様、散歩に出かける患者様に「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」と、言いつけたい。障害に負けない明るく元気な患者様の姿を見つめたい。といつも思っています。

【ESWL】

2-1 病棟には ESWL (結石破碎装置) 治療室が併設されており、当病棟スタッフが治療介助を担当しています。
毎週月・火・金の午後に行われ、昨年度の実施件数は、140 件でした。



▲左上から
池田奈津美
小林洋子
芦澤静香

▲左下から
和田三枝子
三枝浩子(副師長)
武藤綾子



▲左上から
三枝妙子
天野花子
西海淳子(主任)
雨宮真希

▲左下から
平田裕美
早川智子
萩原まゆ美



▲左から 藤原美恵、米山たか子、安藤絵梨、山下なおみ、兵藤貴子

患者様を家族と共に笑顔でささえる。温もりのある看護を目指して

人工透析室 副看護師長 望月 佐久江

こんにちは、5号館の3階にある透析室です。この窓から外を見ると、春には桃の花の桜色、夏は山々の新緑と真っ青な空、秋にはイチヨウが黄金色に染まる、まるでリゾート地の心地よさを感じる眺望があります。明るいワンフロアの室内に36台の透析装置が設置され、コンピューター中央管理システムで患者様の状態観察を行い、快適に安心・安全な治療を受けていただくことを目指しています。

スタッフは看護師10名、臨床工学技士6名、クラーク1名、看護助手1名の総勢18名で、日々の治療には、泌尿器科の滝花部長を筆頭に泌尿器科医師チームと腎臓内科の櫻林部長が担当制で携わっています。最近は様々な合併症を抱える患者様が増え「入院・通院・在宅」と私たちに求められるケアも多様化しています。私たちは、患者様やその家族にとともに寄り添い、患者様がいつも笑顔でよりよい生活が送れるよう関わり続けていきたいと思っています。

～ 急性血液浄化療法について～

技士長 堀内 邦弘

透析室では通常の血液透析以外にも、年々多様化してきている血液浄化療法に最新の血液浄化装置で対応しています。現在、対応できる主な対象疾患と治療方法は、急性腎不全や重症心不全などに対する持続的腎代替療法(CRRT)、高脂血症に対するLDL吸着(PA)、劇症肝炎や術後肝不全などに対する単純血漿交換(PE)、膠原病など免疫疾患に対する二重濾過血漿交換(DFPP)、敗血症や薬物中毒に対する血液吸着(DHP)、潰瘍性大腸炎や関節リウマチに対する白血球除去療法(LCAP・GCAP)など、血液浄化療法全般を扱っています。その他にも、採取した腹水を濃縮して栄養分だけを患者さんに戻す腹水濾過濃縮再静注法(CART)も行っています。さらにC型肝炎ウイルス除去療法(VRAD)が一昨年前よりようやく保険適応となりました。今後、今まで以上に透析室と各科との連携体制が必要だと考えています

【臨床工学技士】



◀左上から
住友徹也
堀内邦弘(技士長)
内山勇樹
◀左下から
田草美保子
小澤佳純
室 裕子



【看護スタッフ】



▲左上から 松永一美 佐久間佐千枝 望月なつみ
左下から 米山順子 望月佐久江(副師長) 雨宮茂美



▲左上から 遠藤てる美 内田峰子 長谷川勝子
左下から 矢崎美恵子 鶴田千津 三澤晴美

新入職員紹介

— よろしくお願ひします —

～今年度、採用された20名の新人を紹介しします。



◀左上から（配属先：出身校）

網野 瑞希（1-5 病棟：甲府看護専門学校）

～患者様が一日でも早く笑顔になれる様、心を込めて看護を提供しします。

鈴木 由佳（1-5 病棟：甲府看護専門学校）

～常に患者様の立場に立った看護を提供できるよう、頑張ります。

岩崎 理沙（1-3 病棟：富士吉田看護専門学校）

～患者様の苦痛を共感してケアができる看護を目指しします。

早川 彩（1-3 病棟：甲府看護専門学校）

～いつも笑顔、患者様に喜んでもらえる看護をしていきたい。

◀左下から

服部 香織（1-4 病棟：甲府看護専門学校）

～やさしく、患者様が何でも相談できるような看護師になります。

鎮目 梨奈（1-4 病棟：帝京山梨看護専門学校）

～笑顔を絶やさず、患者様に寄り添う看護を行っていきます。

松田 慧（1-4 病棟：山梨県立大学）

～患者様が安心して過ごせるよう、明るく笑顔を持って接していきます。

▶左上から（配属先：出身校）

小林 歩（2-4 病棟：飯田女子短期大学）

～患者様のことを一番に考えられる看護師を目指し、日々努力しします。

有泉 友賀（2-3 病棟：共立高等看護学院）

～患者様の立場になって考え、QOLを高められるような看護を目指しします。

楠 美香（2-3 病棟：甲府看護専門学校）

～いつも笑顔を忘れずに、明るく元気な看護師になります。

▶左下から

長澤 美幸（2-4 病棟：帝京山梨看護専門学校）

～いつも笑顔で、患者様から信頼される看護師になります。

内田 弘美（塩山市民病院：甲府看護専門学校）

～高い看護技術を身につけ、患者様目線での看護を目指しします。

鈴木恵美香（塩山市民病院：埼玉医科大学）

～笑顔を絶やさず、患者様と共に病に立ち向かう看護師を目指しします。



◀左上から（配属先：出身校）

小河 勇紀（リハビリ室：帝京医療福祉専門学校）

～責任を持って理学療法に取り組んでいきたいと思ひます。

長田 太樹（リハビリ室：帝京医療福祉専門学校）

～患者様から信頼されるような理学療法士を目指しします。

今泉 隼（リハビリ室：帝京医療福祉専門学校）

～早く一人前になれるよう、一日一日を大切に取組んで行きます。

内山 勇輝（臨床工学室：日本工学院専門学校）

～早く仕事を覚え、患者様・スタッフに頼りにされる技士になりたい。

◀左下から

戸島 義和（医事部：日本大学）

～日々の積み重ねを大切に、信頼される人間へと成長していきたいと思ひます。

大柴きくみ（相談センター：健康科学大学）

～毎日笑顔で、皆様との触れ合いを大切にしていきたいと思ひます。

芦澤 暁子（薬局：千葉科学大学）

～医療専門職として、チーム医療に参加・貢献できる薬剤師になりたい。

